



平和を祈り「きよしこの夜」を歌おう

今から80年も前(1941年)私は小学校3年生であったが、12月8日に、日本の真珠湾攻撃で第2次世界大戦が勃発した。当初日本軍は東南アジアに侵攻、破竹の勢いでタイ、ベトナム、マレー半島、シンガポール、ボルネオなどを占領した。当時これらの地域はイギリスやオランダの植民地であった。開戦まもなく長崎湾の香焼島に捕虜収容所が開設され、次々とイギリス兵、オランダ兵の捕虜が収容されていった。香焼島は隣接する高島や端島(世界遺産の軍艦島)と共に海底炭鉱の坑道であり、大勢の徴用工が石炭を掘り出していた。捕虜達も海底で昼夜を問わず重労働を強いられた。戦渦拡大と共に捕虜達の数も倍増していったが、過酷な労働と栄養失調、それに冬場の寒さが加わり次々と死亡した。

さて、私の祖父は長崎聖公会(イギリスの

国教会)の牧師であったが、父親もあとを受けて2代目牧師を務めていた。香焼島で火葬された捕虜達の遺骨は長崎聖公会に運ばれてきた。12月の冬場には毎週のように、捕虜達の胸に抱かれて教会にやって来た。監視の日本兵は中に入らなかったで、チャペル内は自由であった。父は祭壇に遺骨を安置して英語で葬送式をした。私も補助役を務めた。式の後はいつも「きよしこの夜」を捕虜達と歌った。小学校卒業間近の1945年に入ると、沖縄がアメリカ軍の手に落ち、敗戦濃厚となった。捕虜達の遺骨約50体は米軍の手に渡るのを防ぐため、香焼島の収容所に没収された。8月9日に長崎に原爆が炸裂した。教会は焼失し、私たち家族は猛火に追われて市外に逃れた。10月、長崎にも占領軍が進駐し、捕虜達の遺骨は原爆を免れて香焼島から母国へ帰還した。

神学校を卒業し、大阪の教会に赴任した私は宮崎幸雄主事から要請を受け、阿倍野YMCA(現在の南YMCA)の青少年部委員、宗教部委員、予備校チャプレンとなり、数多くのクリスマス礼拝をともにしてきた。今年はコロナ感染防止のため、マスク姿で「きよしこの夜」を歌うが、コロナ犠牲者や、今なお苦しみの中にある多くの人々の平安を祈り、世界の平和を祈って、YMCAの皆さんと心を込めて歌いたい。



大阪YMCA永年継続会員
元社会福祉法人
大阪YMCA理事長
まつおか けんいち
松岡 虔一

■大阪YMCAの使命

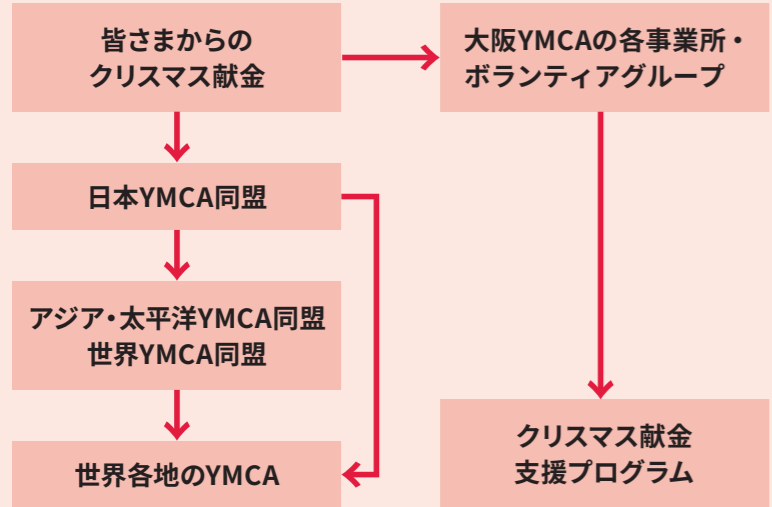
大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

大阪YMCAクリスマス献金のお願い

大阪YMCAではクリスマスを迎えるこの時期に、毎年クリスマス献金活動をおこなっています。皆様からお寄せいただいたクリスマス献金は、大阪YMCAの各事業所をはじめ日本YMCA同盟や世界中の関係YMCAと協力し、ボランティアと共に主体的に企画・実施・援助するプログラムや活動のために大切に用いさせていただきます。



- **国際協力募金**
日本YMCA同盟を通して、世界各地のYMCAが取り組んでいる自然災害や紛争、貧困課題の解決に用います。
- **国際協力活動支援金**
大阪YMCAと海外YMCAとの国際交流を通して、青少年のグローバルなつながりを育むための活動に用います。
- **国際奨学支援金**
大阪YMCAの学校に在籍している留学生をはじめとする外国人学生の学業達成のための奨学金として用います。
- **青少年育成活動支援金**
YMCAのプログラムに参加する青少年への支援、ユースボランティアリーダーが社会課題に対応する力を育むための活動に用います。
- **個別支援プログラム支援金**
大阪YMCAの各事業所が、それぞれの地域課題解決のためにボランティアとともに企画、実施するプログラムへの支援金として用います。
(主に子ども、子育て、高齢者のための地域プログラムの支援に充てられます。以下に一部をご紹介します。)

— クリスマス献金個別支援プログラム紹介 —

① 児童養護施設支援サマーキャンプ

YMCA阿南国際海洋センター **和田 榮理**

児童養護施設に暮らす子どもたちを対象とした自然体験キャンプを、YMCA阿南国際海洋センターで実施しています。学校・施設以外での活動の機会が少ない子どもたちに対して、施設とは異なる豊かな自然の中での共同生活は、新たな学びやつながりを体験できる機会となっています。海洋プログラムでは、刻一刻と表情が変わる海に身を委ね、時には目的地をめざして力を合わせたり、時には自分の身を守るために最善の対応をします。そこで得られる学びが子どもたちの成長の一助となっていると施設担当者から評価されています。

今年度は雨天での活動となり、はじめは不安そうな様子だった子どもたちも、活動が終わるころには「雨の中、こんなに遊んだのはじめて!」「雨が気持ちよかった!」と自然の豊かさに気付いた様子でした。これからも海洋プログラムを通して、子どもたちの自然体験活動の機会を提供し、豊かで健やかな心と体を育てていきます。



② 子育て支援ひろば「オリーブの木」

大阪YMCA英語幼児園天王寺 **片山 聡子**

昨年度は、コロナ禍で世界中の全ての人々が不安を感じて生活をせざるを得ない状況でした。子育て支援ひろば「オリーブの木」もそのような状況の中、「みつかる。つながる。よくなっていく。」を模索して私たちにできる活動を考え、オンラインで1回、対面で1回開催しました。写真は、2020年12月の対面で実施した時の様子です。人とつながる機会が減った1年ですが、子どもたちと一緒に、子育て支援ひろば「オリーブの木」に集まることのできた時の参加者のホッとした安堵と、人とのつながりの大切さと喜びを実感したひと時でした。

日頃よりお子さんの「子育て」に関わり、子育てに奮闘する皆さんがすこしでもホッとし、大切な子どもたちの「子育て」を共に喜び合う場所になりたいと願っています。

子育て支援ひろば「オリーブの木」では、ひろばで「子育て」に関わり、様々な「つながり」をサポートしていただける方を募集しています。興味・関心のある方は、ぜひ、ご連絡ください。お待ちしております♪



皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

～福祉の領域の拡張。高齢者福祉専門からさらに地域の障がい者支援へ～

YMCAこさか相談支援センター **小林 亜津美**

YMCAサンホームは東大阪地域での高齢者福祉分野で24年にわたって事業を展開してきました。その支援過程の中で、さまざまな課題を抱えた世帯の問題(貧困や障がい、虐待など)、子どものひきこもりが背景にある8050問題やヤングケアラーなど、高齢者の支援だけではなく、多様な価値観や課題に応じた支援

が必要になってきました。「ゆりかごから墓場まで」と言われていますが、まさに今、地域で求められているニーズではないでしょうか。

2021年4月1日にYMCA相談支援センターをこさかに開設し、年齢を問わず地域の障がいを持つ人たちの相談を受けています。個別訪問での相談対応、地域の事業所や関係機関の紹介・連携支援を業務とし、地域に求められる事業展開をめざします。

YMCAとさぼり保育園 子育て支援センターぶどうの木 **高木 由美**

子育て支援センターぶどうの木は、2012年6月に開設してからまもなく10周年を迎えます。登録者数も延べ3100組を超えました。兄弟姉妹でぶどうの木を利用している人もたくさんいます。

活動の大部分を占めているのが、遊びの場の提供です。曜日ごとに年齢分けをしているのが特徴です。子どもたちが遊びながら、親同士が交流を深める場になっています。「同じマンションに住んでいる」「近所に住んでいる」けれどもお会いしたことがなく、ぶどうの木で初めて知り合った、などの出会いが多く見られ、ぶどうの木が人と人をつなぐ場所になっています。

核家族の人が多く、子育てに際しての不安感や負担感が増している中で、遊び方、離乳食の進め方、病気やけがの対応等のお話

や相談を行い、育児の不安などをできるだけ早く解消し、子どもの健やかな成長を願う場となっています。



世界YMCA/YWCA合同祈禱週

統括本部 **箕浦 史郎**

毎年、世界中のYMCA/YWCAに連なる人々が1つのテーマをもとに、心を合わせ、祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈禱週が、11月7日から11月13日で実施されました。

今年のテーマは「Beauty from Brokenness こわれたものからの美しさ」でした。ポスターのイラストは、ひびが入った水差しです。

11月9日、関西韓国YMCAが主幹となり、大阪YWCA、大阪YMCAの3Y合同祈禱礼拝を行いました。金 武士牧師(大阪西成教会)より、壊れた土器は修復されるだけではなく、新たなものになる。コロナ等の状況により壊れたものが、コロナ後に修復されるだけでなく新たなものになる。今はそのことに感謝する世界になるよう手探りで進んでいくと、メッセージがありました。

世界YMCA同盟によるオンラインでのYMYW合同祈禱週の礼拝で、日本の伝統的な陶器や茶器の修復技術である「金継ぎ」が、今年のテーマの表出するものとして取り上げられました。ミネアポリスのYMCA of the Northを通して「金継ぎ」の文化や精神性などの知識を得たいと大阪YMCAに依頼があり、グローバル推進室が中心となりサポートしました。

大阪YWCA / 関西韓国YMCA / 大阪YMCA

合同祈禱週集会 2021

Beauty from Brokenness
こわれたものからの美しさ

世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が1つのテーマをもとに心を合わせ祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈禱週
— 平和を求め共に祈る集い! — どなたでもご参加いただけます —



日時: 2021年11月9日(火) 18:30 ~ 19:30
会場: 大阪YMCA 土佐堀会館 西区土佐堀1-5-6
※ オンライン参加・ライブ視聴も可(詳細裏面)
内容: 第1部 礼拝 — メッセージ 金 武士 牧師
在日大韓基督教 大阪西成教会
関西基督教元部長・関西韓国YMCA副代表理事
第2部 活動報告 ※ 恒例のお食事や交流は行いません。



食育コラム

育てて、触れて、食べてみよう！

YMCAたかつきあま保育園 はしもと 橋本 ゆか

YMCAたかつきあま保育園では、広い畑にたっぷりの日差しが降り注ぐ恵まれた環境を活かし、一年にわたって野菜を育て、種まき、水やり、収穫を経験します。収穫した野菜は厨房で炒め物やサラダにするなど、給食やクッキングに使ってみんなで楽しく食べています。園で収穫したトマトだけで作ったミートソーススパゲティは子どもにも職員にも大人気でした。自分たちで育てた野菜には“おいしい！”がたくさん詰まっています。今年は「ピーマン食べられるようになった！」という嬉しい声が聞こえました。

野菜が実ったところを見る機会が少ない子どもたちに、育てていく様子や形を見る・触れるという経験をたくさんしてほしいと思い、このような取り組みを行っています。収穫する喜びやみんなで食べる楽しみなどを体験し、食への関心・意欲を育てていって欲しいと願っています。



2022年度年間聖句・年間讃美歌 公募のご案内

大阪YMCAでは、2022年度年間聖句・讃美歌を下記の通り公募いたします。

年間聖句・讃美歌は、大阪YMCAにおける様々な行事等で、多くの機会に唱えられます。YMCAに集う人々が、親しみを持って口ずさむことのできるものであることを願っています。多くの方々からの応募を心よりお待ちしております。

大阪YMCA ミッション委員会

■応募内容 YMCAに集う方々にとって親しみを感じる
年間聖句・年間讃美歌

■応募締切 2022年1月7日(金)

■応募方法

下記のQRコードを読み込んで、必要事項を記入の上ご応募ください。大阪YMCAのHPから応募用紙をダウンロードし、メールまたはFAXで応募いただくことも可能です。

【HPアドレス】 <http://www.osakaymca.or.jp/>

■お問合せ

大阪YMCA 統括本部
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
E-mail: info@osakaymca.org



第26回 大阪YMCAチャリティーラン2021開催のお知らせ

日時 2022年3月20日(日)10:00~14:00
(受付10:00~12:30)

受付会場 花博記念公園鶴見緑地 パーゴラ広場

お問合せ 大阪YMCAチャリティーラン事務局
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
MAIL:chari-run@osakaymca.org

※詳細は下記、
大阪YMCAチャリティーラン
WEBサイトをご確認ください。



大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第335回 日時... 2021年12月17日(金) 7:30~8:15

※朝食会はございません。

証し... キム チジュン 金 智重さん(YMCA会員)

場所... 大阪YMCA会館 10階 チャペル

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

ユースリーダーの日の集い

■日時 2021年12月23日(木)
18:30~19:00 【一部】礼拝
19:00~20:30 【二部】研修会

■場所 大阪YMCA 2階ホール

■テーマ 「みんなで一つに！」

コロナ禍でユースリーダー同士や子どもたちとの関わり(コミュニケーション)が減ってきています。

オンラインやマスクによる感情や意図の伝えづらさを感じていることから、コミュニケーションの重要性や、どのようにしたら自分の気持ちなどを伝えることができるのかを知る機会とします。

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年10月度報告・敬称略

【継続会員】

高田 いずみ
福田 行洋
上野 由貴
尾北 昇
金沢 昇依
神田 尚人
小池 晃

高山 智貴
久井 颯生
久岡 美弘
盛 洗希
吉村 周平

【継続賛助会員】

大阪ガス株式会社
宗教法人大阪クリスチャンセンター
一般社団法人 The Honolulu Academy of Medicine
レックス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

